

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>		単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>地理A</b>		対象学年	<b>1</b>	学年
科目分類	<b>必修</b>		授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	高等学校 地理A 新版 世界に目を向け、地域を学ぶ (第一学習社) 新詳高等地図 初訂版 (帝国書院)		担当者	佐藤 乃衣 石井 増男	
使用教材	図説地理資料 世界の諸地域NOW 2019				
学習内容	ねらい	世界の人々の生活・文化に関する地域的特色と、その動向を比較し、多面的に考察する。			
	1学期	1. 地理情報の活用と現代世界の特色 2. 世界の諸地域の地域性 ①世界の人々の生活を取りまく環境	授業時間	24 時間	
	2学期	2. 世界の諸地域の地域性 ②世界の諸地域の生活・文化と環境 東南アジア、南アジア、西アジア・北アフリカ、中南アフリカ ヨーロッパ、北アメリカ、中央・南アメリカ、オセアニア	授業時間	26 時間	
	3学期	2. 世界の諸地域の地域性 ③近隣諸国の生活・文化と日本との関係 3. 現代世界の地球的課題	授業時間	20 時間	
評価観点	1. 学習の成果 2. 授業の取り組み姿勢 3. 提出物の提出状況				
評価方法	定期考査・提出課題・授業態度によって総合的に評価する。				
備考	特になし				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>現代社会</b>	対象学年	<b>2</b>	特進
科目分類	<b>必修</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)	担当者	高橋 和志	
使用教材	ライブ！現代社会2020(浜島書店) 改訂版 現代社会ノート(第一学習社)			
学習内容	ねらい	広い視野に基づき、現代社会について主体的に考察させ、理解を深めさせ、人間としての在り方や生き方についての自覚を育て、平和的・民主的な国家・社会の形成者としての必要な公民としての資質を養うことをめざす。		
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生きる社会 科学技術の発達と生命倫理、高度情報社会と私たちの生活</li> <li>・現代に生きる青年 青年期の意義と自己形成の課題、現代社会における青年の生き方</li> <li>・現代に生きる倫理 豊かな人生を求めて、日本の伝統的なものの考え方、近代の西洋思想</li> </ul>	授業時間	24
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊重と法の支配 民主政治における個人と国家、基本的人権と法の支配、世界のおもな政治体制</li> <li>・現代の民主政治と政治参加の意義 日本国憲法の基本原理、平和主義と安全保障、基本的人権の保障と新しい人権 国民主権と議会制民主主義、内閣と行政の民主化、裁判所と人権保障 地方自治と住民の福祉、世論形成と政治参加</li> </ul>	授業時間	26
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済社会と私たちの生活 経済社会と経済体制、経済体制と企業の活動、市場経済の仕組み 経済成長と景気変動、政府の経済的役割と租税の意義、金融機関のはたらき 戦後の日本経済の動き、産業構造の変化、雇用と労働問題、公害防止と環境保全 消費者保護と契約、社会保障と国民福祉</li> </ul>	授業時間	20
	評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 課題の達成状況</li> <li>3. 授業に取り組む姿勢</li> </ol>		
	評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。		
備考				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>現代社会</b>	対象学年	<b>2</b>	学年
科目分類	<b>必修</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)	担当者	高橋 和志	
使用教材	ライブ！現代社会2020(浜島書店) 改訂版 現代社会ノート(第一学習社)			
学習内容	ねらい	広い視野に基づき、現代社会について主体的に考察させ、理解を深めさせ、人間としての在り方や生き方についての自覚を育て、平和的・民主的な国家・社会の形成者としての必要な公民としての資質を養うことをめざす。		
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生きる社会 科学技術の発達と生命倫理、高度情報社会と私たちの生活</li> <li>・現代に生きる青年 青年期の意義と自己形成の課題、現代社会における青年の生き方</li> <li>・現代に生きる倫理 豊かな人生を求めて、日本の伝統的なものの考え方、近代の西洋思想</li> </ul>	授業時間	24 時間
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊重と法の支配 民主政治における個人と国家、基本的人権と法の支配、世界のおもな政治体制</li> <li>・現代の民主政治と政治参加の意義 日本国憲法の基本原理、平和主義と安全保障、基本的人権の保障と新しい人権 国民主権と議会制民主主義、内閣と行政の民主化、裁判所と人権保障 地方自治と住民の福祉、世論形成と政治参加</li> </ul>	授業時間	26 時間
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済社会と私たちの生活 経済社会と経済体制、経済体制と企業の活動、市場経済の仕組み 経済成長と景気変動、政府の経済的役割と租税の意義、金融機関のはたらき 戦後の日本経済の動き、産業構造の変化、雇用と労働問題、公害防止と環境保全 消費者保護と契約、社会保障と国民福祉</li> </ul>	授業時間	20 時間
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 課題の達成状況</li> <li>3. 授業に取り組む姿勢</li> </ol>			
評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。			
備考				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>世界史A</b>	対象学年	<b>2</b>	特進
科目分類	<b>必修</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	世界史A 新訂版(実教出版)	担当者	藤井 真州	
使用教材	グローバルワイド 最新世界史図説 三訂版(第一学習社)			
学習内容	ねらい	現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関わる様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		
	1 学期	世界の一体化の第一歩 ルネサンスと宗教改革 ヨーロッパの主権国家体制 アジアの繁栄 世界経済体制の形成 産業革命と工業化社会の成立	授業時間	24 時間
	2 学期	アメリカ独立戦争 フランス革命とナポレオン戦争 ウィーン体制とその崩壊 ヨーロッパ国民国家の発展 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 東アジアの変容と日本の近代化	授業時間	26 時間
	3 学期	激変する社会と帝国主義 第一次世界大戦とロシア革命 戦間期のヨーロッパとアメリカ 民族運動の高まり 第二次世界大戦	授業時間	20 時間
	評価観点	1. 学習の成果 2. 課題の達成状況 3. 授業に取り組む姿勢		
	評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。		
	備考			

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位	
科目名	<b>世界史A</b>	対象学年	<b>2</b>	学年	
科目分類	<b>必修</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業	
教科書	世界史A 新訂版(実教出版)	担当者	藤井 真州		
使用教材	グローバルワイド 最新世界史図説 三訂版(第一学習社)				
学習内容	ねらい	現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関わる様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。			
	1 学期	世界の一体化の第一歩 ルネサンスと宗教改革 ヨーロッパの主権国家体制 アジアの繁栄 世界経済体制の形成 産業革命と工業化社会の成立	授業時間	24 時間	
	2 学期	アメリカ独立戦争 フランス革命とナポレオン戦争 ウィーン体制とその崩壊 ヨーロッパ国民国家の発展 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 東アジアの変容と日本の近代化	授業時間	26 時間	
	3 学期	激変する社会と帝国主義 第一次世界大戦とロシア革命 戦間期のヨーロッパとアメリカ 民族運動の高まり 第二次世界大戦	授業時間	20 時間	
	評価観点	1. 学習の成果 2. 課題の達成状況 3. 授業に取り組む姿勢			
	評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。			
備考					

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>日本史A</b>	対象学年	<b>2</b>	特進
科目分類	<b>必修</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	改訂版 日本史A(山川出版社)	担当者	渡邊 愛	
使用教材	新詳日本史(浜島書店)			
学習内容	ねらい	近現代社会の成り立ちを把握する。 日本史と世界史と現代社会とのつながりを把握する		
	1 学期	○近代史 近代史の大きな流れ／開国から倒幕へ／明治維新／富国強兵／殖産興業	授業時間	24 時間
	2 学期	○近代史 自由民権運動／明治憲法の成立／日清戦争／日露戦争／韓国併合／	授業時間	26 時間
	3 学期	○近代史/現代史 満州事変／日中戦争／太平洋戦争／占領と民主化	授業時間	20 時間
評価観点	1. 学習の成果 2. 授業への取組姿勢 3. 提出物の提出状況			
評価方法	定期考査の素点を核とし、授業の取組、課題提出などを加味して総合的に評価する。			
備考				

## 令和2年度 シラバス（授業計画）

教科名	地歴公民			単位数	2	単位
科目名	日本史A			対象学年	2	学年
科目分類	必修			授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版 日本史A(山川出版社)			担当者	渡邊 愛	
使用教材	新詳日本史(浜島書店)					
学習内容	ねらい	近現代社会の成り立ちを把握する。 世界史と現代社会とのつながりを把握する				日本史と
	1 学期	○近代史 近代史の大きな流れ／開国から倒幕へ／明治維新／富国強兵／殖産興業				授業時間
						<b>24</b>
						時間
2 学期	○近代史 自由民権運動／明治憲法の成立／日清戦争／日露戦争／韓国併合／				授業時間	
					<b>26</b>	
					時間	
3 学期	○近代史/現代史 満州事変／日中戦争／太平洋戦争／占領と民主化				授業時間	
					<b>20</b>	
					時間	
評価観点	1. 学習の成果 2. 授業への取組姿勢 3. 提出物の提出状況					
評価方法	定期考査の素点を核とし、授業の取組、課題提出などを加味して総合的に評価する。					
備考						

## 令和2年度 シラバス（授業計画）

教科名	<b>公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>政治・経済</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	<b>政治・経済(東京書籍)</b>	担当者	池田 耕平	
使用教材	<b>最新図説 政経 (浜島書店)</b>			
学習内容	ねらい	現代における政治・経済・国際関係などの基礎的な知識について理解させるとともに、関係する諸課題について考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の資本主義経済 資本主義経済体制の成立・資本主義経済の発展と変容</li> <li>・現代経済のしくみ 経済主体と経済循環・生産のしくみと企業・市場経済の機能と限界 国民所得と経済成長・金融のしくみと機能・財政のしくみと機能・財政のしくみと機能</li> <li>・日本経済の発展と産業構造の変化 経済再建から高度成長へ・オイルショック後の日本経済・日本経済の現状</li> </ul>	授業時間  <b>24</b>  時間	
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉社会と日本経済の課題 公害と環境保全・消費者問題・農業食料問題・中小企業の現状と課題 雇用と労働問題・社会保障と福祉</li> <li>・国民経済と国際経済 貿易と国際収支・国際経済体制の展開・発展途上国の経済・地域主義の動き グローバル化する世界経済</li> <li>・現代社会の諸課題</li> </ul>	授業時間  <b>26</b>  時間	
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の政治のまとめ</li> <li>・大学入試対策演習</li> </ul>	授業時間  <b>20</b>  時間	
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 課題の達成状況</li> <li>3. 授業に取り組む姿勢</li> </ol>			
評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。			
備考				



## 令和2年度 シラバス（授業計画）

教科名	<b>公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>政治・経済</b>	対象学年	<b>3</b>	特進
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	<b>政治・経済(東京書籍)</b>	担当者	池田 耕平	
使用教材	<b>最新図説 政経 (浜島書店)</b>			
学習内容	ねらい	現代における政治・経済・国際関係などの基礎的な知識について理解させるとともに、関係する諸課題について考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の資本主義経済 資本主義経済体制の成立・資本主義経済の発展と変容</li> <li>・現代経済のしくみ 経済主体と経済循環・生産のしくみと企業・市場経済の機能と限界 国民所得と経済成長・金融のしくみと機能・財政のしくみと機能・財政のしくみと機能</li> <li>・日本経済の発展と産業構造の変化 経済再建から高度成長へ・オイルショック後の日本経済・日本経済の現状</li> </ul>	授業時間  <b>24</b>  時間	
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉社会と日本経済の課題 公害と環境保全・消費者問題・農業食料問題・中小企業の現状と課題 雇用と労働問題・社会保障と福祉</li> <li>・国民経済と国際経済 貿易と国際収支・国際経済体制の展開・発展途上国の経済・地域主義の動き グローバル化する世界経済</li> <li>・現代社会の諸課題</li> </ul>	授業時間  <b>26</b>  時間	
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の政治のまとめ</li> <li>・大学入試対策演習</li> </ul>	授業時間  <b>20</b>  時間	
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 課題の達成状況</li> <li>3. 授業に取り組む姿勢</li> </ol>			
評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。			
備考				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>		単位数	<b>4</b>	単位
科目名	<b>地理B</b>		対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>		授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	新編詳細地理B 改訂版(二宮書店) 新詳高等地図 初訂版(帝国書院)		担当者	佐藤 乃衣	
使用教材	新版 最新地理図表GEO(第一学習社)				
学習内容	ねらい	現代世界の地理的事象を系統的・及び地誌的に学習し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的思考力を培う。			
	1 学期	1. 自然と生活 ①自然環境と生活 ②資源と産業 ③生活と文化	授業時間	<b>48</b>	時間
	2 学期	2. 世界の諸地域 3. グローバル化する現代世界	授業時間	<b>52</b>	時間
	3 学期	4. 地球的な課題	授業時間	<b>40</b>	時間
評価観点	1. 学習の成果 2. 授業の取り組み姿勢 3. 提出物の提出状況				
評価方法	定期考査・提出課題・授業態度によって総合的に評価する。				
備考	特になし				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>4</b>	単位	
科目名	<b>世界史B</b>	対象学年	<b>3</b>	特進	
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業	
教科書	詳説 改訂版 世界史B (山川出版社)	担当者	石井増男		
使用教材	タペストリー 最新世界史図説 十七訂版(帝国書院)				
学習内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学受験希望者に、受験に必要な知識を身につけさせる。</li> <li>・ 11世紀以降のヨーロッパ史を中心とした授業と問題演習を通して、受験の実践的な力を身につけさせる。</li> </ul>			
	1学期	西ヨーロッパ中世世界の変容 近世ヨーロッパ世界の形成 近世ヨーロッパ世界の展開	授業時間	48 時間	
	2学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展 帝国主義と列強の展開 二つの世界大戦	授業時間	52 時間	
	3学期	問題演習	授業時間	10 時間	
	評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 課題の達成状況</li> <li>3. 授業に取り組む姿勢</li> </ol>			
	評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。			
備考	なし				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>4</b>	単位	
科目名	<b>世界史B</b>	対象学年	<b>3</b>	学年	
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業	
教科書	詳説 改訂版 世界史B (山川出版社)	担当者	石井増男		
使用教材	タペストリー 最新世界史図説 十七訂版(帝国書院)				
学習内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学受験希望者に、受験に必要な知識を身につけさせる。</li> <li>・ 11世紀以降のヨーロッパ史を中心とした授業と問題演習を通して、受験の実践的な力を身につけさせる。</li> </ul>			
	1学期	西ヨーロッパ中世世界の変容 近世ヨーロッパ世界の形成 近世ヨーロッパ世界の展開	授業時間	48 時間	
	2学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展 帝国主義と列強の展開 二つの世界大戦	授業時間	52 時間	
	3学期	問題演習	授業時間	10 時間	
	評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 課題の達成状況</li> <li>3. 授業に取り組む姿勢</li> </ol>			
	評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。			
備考	なし				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>4</b>	単位	
科目名	<b>日本史B</b>	対象学年	<b>3</b>	学年	
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業	
教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社)	担当者	松尾 繁樹 渡邊 愛		
使用教材	新詳日本史(浜島書店)				
学習内容	ねらい	古代から近世までの社会や文化の特色、成り立ちを理解する。その理解は国際環境、地理的環境と関連付けて考察することにより深める。現代の諸課題との関連性を認識する。			
	1 学期	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代 4. 平安王朝の形成 第3章 貴族政治 1. 摂関政治 2. 地方政治の展開と武士 第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府衰退 第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 戦国大名の登場	授業時間  <b>48</b>  時間		
	2 学期	第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 幕藩体制の成立 3. 幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 幕府の衰退と近代への道	授業時間  <b>52</b>  時間		
	3 学期	大学入試対策問題演習 現代史の探求	授業時間  <b>20</b>  時間		
	評価観点	1. 学習の成果 2. 授業にとりくむ姿勢 3. 課題の達成状況			
	評価方法	定期考査の素点を核とし、授業の取組、課題提出などを加味して総合的に評価する。			
備考					

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>4</b>	単位
科目名	<b>日本史B</b>	対象学年	<b>3</b>	特進
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社)	担当者	松尾 繁樹	
使用教材	新詳日本史(浜島書店)			
学習内容	ねらい	古代から近世までの社会や文化の特色、成り立ちを理解する。その理解は国際環境、地理的環境と関連付けて考察することにより深める。現代の諸課題との関連性を認識する。		
	1 学期	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代 4. 平安王朝の形成 第3章 貴族政治 1. 摂関政治 2. 地方政治の展開と武士 第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府衰退 第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 戦国大名の登場	授業時間  <b>48</b>  時間	
	2 学期	第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 幕藩体制の成立 3. 幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 幕府の衰退と近代への道	授業時間  <b>52</b>  時間	
	3 学期	テーマ史(土地制度、税制、外交、社会経済) 大学入試対策問題演習 現代史の探求	授業時間  <b>20</b>  時間	
評価観点	1. 学習の成果 2. 授業にとりくむ姿勢 3. 課題の達成状況			
評価方法	定期考査の素点を核とし、授業の取組、課題提出などを加味して総合的に評価する。			
備考				

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>世界史B</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>自由選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	詳説 改訂版 世界史B (山川出版社)	担当者	石井増男	
使用教材	タペストリー 最新世界史図説 十七訂版(帝国書院)			
学習内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学受験希望者に、受験に必要な知識を身につけさせる。</li> <li>・ 中国史を中心とした授業と問題演習を通して、受験の実践的な力を身につけさせる。</li> </ul>		
	1 学期	中国の古代文明 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 東アジア諸地域の自立化	授業時間	24 時間
	2 学期	モンゴルの大帝国 東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域 東アジアの激動	授業時間	26 時間
	3 学期	アジア諸国の改革と民族運動 アジア・アフリカ地域の民族運動 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	授業時間	16 時間
	評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 課題の達成状況</li> <li>3. 授業に取り組む姿勢</li> </ol>		
	評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。		
備考	なし			

## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>日本史B</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>自由選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社)	担当者	松尾 繁樹	
使用教材	新詳日本史(浜島書店) 大学入学共通テスト日本史トレーニング問題集(山川出版社)			
学習内容	ねらい	近代国家の形成の過程、近代社会や文化の特色、現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察し、理解する。現代の諸課題との関連性、世界の中での日本の立場について認識する。		
	1 学期	第9章 近代国家の成立 1. 社会運動の発生 第10章 二つの世界大戦とアジア 1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の変容と大衆文化 4. 恐慌の時代	授業時間	24 時間
	2 学期	第10章 二つの世界大戦とアジア 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和 第12章 高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から高度成長 第13章 激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と日本社会の変容	授業時間	26 時間
	3 学期	大学入試対策	授業時間	20 時間
評価観点	1. 学習の成果 2. 授業にとりくむ姿勢 3. 課題の達成状況			
評価方法	上記の観点を点数化したうえで、必選日本史Bに連結して評価する。			
備考				



## 令和2年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>政治・経済</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>自由選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	<b>政治・経済(東京書籍)</b>	担当者	池田 耕平	
使用教材	<b>最新図説 政経 (浜島書店)</b>			
学習内容	ねらい	必修政治経済における基礎的知識を補完すると共に、発展学習・問題演習により公務員試験、大学受験合格を目指す。		
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の基本原理     基本的人権の保障</li> <li>・日本の政治機構     地方自治</li> <li>・現代政治の特質と課題     戦後政治と政党、選挙と政治意識、世論と政治参加</li> <li>・現代の国際政治     国際政治の特質、国際社会と国際法、国際連合の役割と課題、     戦後国際関係の展開と日本、国際政治の課題</li> <li>・大学入試対策演習</li> </ul>	授業時間  <b>24</b>  時間	
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済の発展と産業構造の変化     経済再建から高度成長へ、オイルショック後の日本経済、日本経済の現状</li> <li>・福祉社会と日本経済の課題     公害と環境保全、消費者問題、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、     雇用と労働問題、社会保障と福祉</li> <li>・国民経済と国際経済     貿易と国際収支、国際経済体制の展開、発展途上国の経済、地域主義の動き、     グローバル化する世界経済</li> <li>・大学入試対策演習</li> </ul>	授業時間  <b>26</b>  時間	
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試対策演習</li> </ul>	授業時間  <b>20</b>  時間	
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の成果</li> <li>2. 授業にとりくむ姿勢</li> <li>3. 課題の達成状況</li> </ol>			
評価方法	上記の観点を総合する			
備考				